

# 「シュバイツァー」

1/2

- なぜシュバイツァーの本を選んだかと言うと、  
だからです。
- シュバイツァーは 1875 年に 生まれました。今から 140 年以上も前、第一次世界大戦の始まる前でした。
- そんな時代にアフリカに行くのは  
だとしました / だと感じました。
- ドイツ人のシュバイツァーがフランスの植民地で活動を続けるのは、  
だからです。
- もし私なら  
だったと思います。
- シュバイツァーは演奏会を開くほどの優れた音楽家でもありました。牧師の子どもとして生まれた  
シュバイツァーは聖ニコライ教会の牧師になります。それだけでなく、哲学、神学の論文を書き、大学で教授に  
までなります。それだけでも十分に大変なのに、大学の医学部に入り、勉強し直して、医師になりました。
- 1つでも大変なのに、すべてにおいて一生懸命に努力することでたくさんの才能を活かすことができました。
- もし私がシュバイツァーのように同時にいくつもの勉強をすると考えると、  
だとしました / だと感じました。
- 私も 【いくつかのことを同時に苦労した体験 / 挫折した経験】①状況の説明：いつ・どこで・だれが / だれに  
②行動：きっかけ / 理由・何を・どうした・どのように / どのくらい・なぜ / どうして  
③状況 / 心の変化：どうなったのか、どう思ったのか、何が変わったか  
ということがありました。  
そのこと / 体験から、(一つに集中してやる方が / どちらもがんばると両方によい結果が出る / とても成長できる)  
だとしました / という気持ちがわかります。
- 私は、シュバイツァーの努力 / 信念 / 頑張り / 行動 は  
と思いました。
- シュバイツァーは医療の十分にないアフリカの人々のために、医師としてできる限りのことを行います。  
私は、  
だとしました。
- シュバイツァーの努力する姿を見て、まわりの人は / 共感する人は  
ないかと考えました / と感じたと思います。
- だから、シュバイツァーにはたくさんの協力 / 理解 / 支持 してくれる人があらわれたのだと思います。
- 私も 【がんばっている人を応援した体験 / 努力したら協力してもらえた出来事】①状況の説明 ②行動  
③状況 / 心の変化  
ということがありました。  
そのこと / 出来事から、(努力することの大切さ / 頑張ることで認められる / 人は一生けんめいな人を応援したい)  
だとしました / という気持ちがわかります。

# 「シュバイツァー」

2/2

□一人の人間の 地道な努力 / 強い信念 / 真っ直ぐな頑張り / ひたむきな行動 は、

だと思いました / だと考えました。

□ シュバイツァーは長年の功績が認められてノーベル賞を受賞しました。アフリカで医療活動に関わる

医師であるシュバイツァーが受賞したのは、『ノーベル医学・生理学賞』ではなく、世界平和のために大きな貢献をした人に与えられる『ノーベル平和賞』です。

□私はシュバイツァーは、医療行為をするだけでなく、アフリカの地での

ということが認められたのではないかと思います / 考えます。

□90歳で亡くなるまで、アフリカで働き続けます。90歳まで働き続けるなんて

だと思いました。 / だと感じました。

□それまでにたくさんの国や団体に賞や称号が贈られて功績が認められました。たくさんの医療関係者が  
シュバイツァーのつくった病院を訪れ、協力や支援の手を差し伸べてくれました。今でもシュバイツァーが  
つくった病院があり、たくさんの人たちを助けていると知って

と思いました / と感じました。

□シュバイツァーの人生 / 伝記 / 生き方は、日頃あまり考えたことがない『命 / 平和 / 戦争』や、今、私たちの生活ではあたりまえにある医療や平和がもし失われたらと、考えてみるきっかけになりました。

私も【あたりまえにできるはずのことができなかつた / 禁止された体験】①状況の説明 ②行動 ③状況 / 心の変化  
ということがあります。

そのことから、(あたりまえにできることに感謝 / 禁止されると不便 / おさえつけられると生活しづらい)

だと思いました / という気持ちがわかります。

□実際に生きてきた人物であり、今もなお、シュバイツァーは多くの人に影響を与え続けています。

だからこそ、身近に / 現実的に / 興味を持って / 共感して / 偉大さを感じながら 読むことができ、

なのではないかと思いました。 / 考えました。

□ シュバイツァーの伝記で一番 感度した / 記憶に残った / みんなに伝えたいことは、

です。

なぜなら、

だからです。